

センターだより

〈発行〉

平成24年8月1日

〈発行〉 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 神戸視力障害センター
神戸市西区曙町1070 電話 (078) 923-4670 FAX (078) 928-4122
URL : <http://www.kobe-nhb.go.jp/> E-mail : syomu@kobe-nhb.go.jp

就任のご挨拶

所長 堤 裕俊

平成24年4月1日付で国立障害者リハビリセンター研究所から神戸視力障害センター所長に赴任してまいりました堤と申します。

私は今までに他の視力センターでの経験が数年ありますが、神戸視力障害センターでの勤務は初めてとなりますので、よろしくお願いたします。

赴任して間もなく、入所式、始業式、自立訓練利用開始式と視覚に障害のある方々が新たな一歩を踏み出す皆さんの前で挨拶をし、二十数年ぶりに、視力センターに戻ってきたことを実感いたしました。

今年度、新たに理療教育へ入所された方、11名の皆さんは年齢も10代から50代までと幅広く、入所された方々に対し途中で挫折することなく所期の目標が達せられますよう、より良いサービスの提供を行っていきたくと思いました。

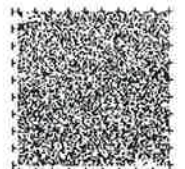
以前は、利用制度の違いはありましたが、入所定員いっぱいにご利用されている方が入所されていた記憶があります。しかし、今、当視力障害センターは約半分程度の利用状況となっており、今後更に利用者の募集に力を入れていく必要を感じました。

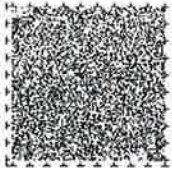
そのために職員が一丸となってサービス向上に取り組むことが大事なことを考えています。

当視力障害センターは昭和26年に国の失明者更生施設として設立されました。これは、国立東京視力障害センター、国

立塩原視力障害センターの次に設置された、61年の歴史を有する施設です。この間、三千二百人近くの卒業生が兵庫県を中心に活躍されております。

未だ民間での取組が十分でない、途中で視覚障害となられた方々への「あはき師」養成機関としての役割を再認識し、精一杯頑張っていきますので、職員はじめ利用者及び家族の皆様方、卒業生、ボランティア、地元の皆様方、関係機関の皆様のご支援とご協力を心からお願い申しあげましてご挨拶といたします。





新規利用者の声

今年度より当センターの利用を開始された方々から一言

年齢もこれまで生活してきた環境も全く異なる方々とともに生活するというので、入所当初は少なからず不安がありました。今では環境にも慣れ、楽しく勉強できています。これから国家試験を目指し、クラス全員で勉学に励みたいと思います。(H)

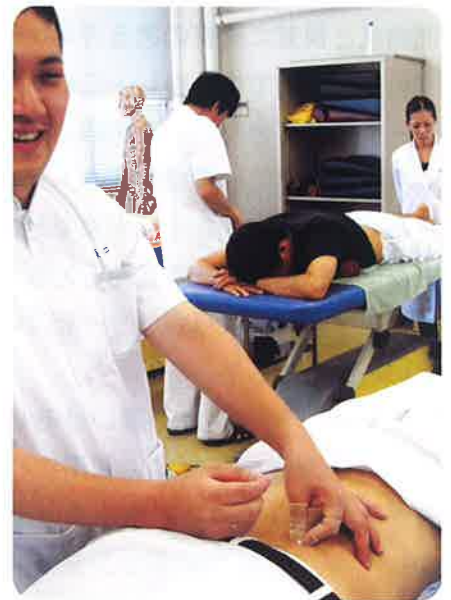


人生の途中で視覚障害となり6年以上失意のまま過ごしてきましたが、多くの方の助けで視力障害センターを知りました。未だ視力低下や勉強方法など不安がありますが、資格取得という目標ができ、少しでも社会貢献が出来るよう頑張っていきたい。(N)

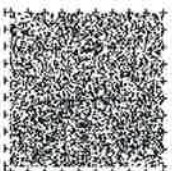


私は約30年間サラリーマンをしてきましたが、目の病気が急激に進行し仕事を続けることが困難になり退職し、何とか自立したいと神戸視力に入所しました。しかし、何十年ぶりの勉強となるので、なかなか頭に入ってきません。実技にしても思うように体が動いてくれないのが現状ですが、幸いにすばらしい仲間と出会ったので、この人達に良い刺激をもらいながら、資格取得できるよう努力したいと思っています。(I)

就労移行支援(養成施設)の授業風景



2年前に視力障害になり、それまで病気知らずだった私にはそのことを理解するのに時間がかかりました。病院を出るときもらったパンフを頼りに神戸視力に見学に行き、1年後に生活訓練を受けることになりました。その間に理療の道に進むことを決心しました。最初、読むことも書くこともできない自分にやっていけるのか不安でしたが、周りの諸先輩の助けを受けながらやってこれました。試験勉強で萎えていたときも、諦めずに頑張ろうと励ましていただきました。人は一人では何も出来ませんが障がいを負うとなおのことですが、良き先輩、周囲の方々の助けによって私にもやっていけそうな気がしています。(M)





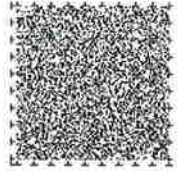
自立訓練の訓練風景



5月1日より自宅最寄バス停よりセンターへ通うようになりましたが、最初の頃は、家の玄関から出るところから緊張し、訓練を終えて帰宅すると、食事も摂らずに寝ていましたが、約2か月が過ぎた今日この頃少しは要領を得てきたように感じます。それでも、毎週毎回、ほぼ同じ時間の、ほぼ同じルートで通っているのに、毎回色々なことを経験しており、全てがとても新鮮で、今とても人間らしく現実的に生きているように思います。色々な世代の、異なる環境や状況の、前向きなお仲間さんたちと出会えたことも、今までの私ができることができなかった気づきや学びを与えていただいていることに、大変感謝しています。自立訓練を受けられることは、今後の私の大きな転機になると思います。これからの私ができることを、たくさん見つけたいです。

(門田 真由美)

高校生の時、鍼灸院に通って、とても体が軽くなった経験があります。高校在学中に県盲を紹介され、県盲の先生から神戸視力を紹介され入所しました。クラスの人々と一緒に卒業して国家試験に合格できるよう頑張りたいと思います。(Y)



私が障害者手帳をもらうようになったのは、いまから約4年前のことでした。そしてその頃家内も大きな病気をしました。そして私も目の病気の症状が悪化し、段々日常生活に支障をきたすようになってきました。たとえば家の中の小さな段差昇降でつまづいて転倒しそうなこと又階段の手すりをもって昇降せなければならなくなりました。家でもそういう状況になっていたので落ち込んだりしていた時、眼科の主治医の先生から神戸の施設のことを紹介され家族と相談し入所するのを決めました。私の思いは家族の負担軽減につながることで、自分自身のためになると考えました。入所後は広い敷地内に建物が建っている為教室、食堂、浴室がなかなかわからない為苦労しました。今は慣れてきて、一生懸命訓練を受けています。訓練内容を御紹介すると、歩行、ロービジョン、パソコン、点字、日常生活動作の訓練があります。全てマンツーマンで指導者がついて訓練を受けています。どの指導者も訓練生のためにといつも念頭におきながら、やさしく訓練生には目配り、気配り、心配りを忘れることなく指導をしてくれます。

本当にすばらしい心の広い指導者に恵まれて神戸へ来てよかったとつくづく思います。ここでの訓練が家族の負担軽減にきつとなるだろう。又自分自身が日常生活をなんとか送れる日を夢見て日々精進の心を忘れず訓練に取り組むことが私の責務だと思って一生懸命頑張る所存です。

「家族のために、自分自身のために」なることを信じて…。

(上田 勝英)

「出会えたすべてに感謝を」

私がこのセンターの事を知ったのは、幾つもの幸運の重なった結果でした。

白杖の使い方一つ知らなかった私にとってここでの訓練で学ぶ事は多く大変ですが、丁寧に教えて頂いているお陰もあり、日々進歩を実感でき、毎日が充実しています。

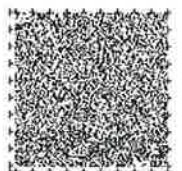
そして、何より、ここで私は新たな目標を見つける事ができました。

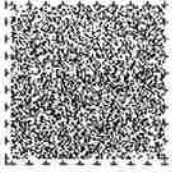
私以上に重い視力障害を持つ方々が、それでも夢の実現を目指す姿は、十四歳で発症し、以降、多くの事を諦めてきた私にとって、小さくはない衝撃でした。ですがそのお陰で、「諦める必要なんて無い」と、知りました。

ですから今度こそ、見つけた夢を実現させたいです。

ここでの経験を助けとして。

(小松 智弘)





平成23年度 就労移行支援 第20回あはき国家試験結果

現役受験者については、いずれも全国平均合格率（あま指84.1%、はり72.8%、きゅう70.0%）を上回る、良好な結果となりました。

	あん摩マッサージ指圧師			はり師			きゅう師		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)
現役受験者	9	9	100.0%	10	9	90.0%	10	8	80.0%
再受験者	3	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%

平成23年度 就労移行支援卒業生の進路状況

平成23年度の卒業生は、高等課程5年1名、専門課程3年10名の計11名で、進路については以下のとおりです。

	高等5年			専門3年			合計
	高等5年	専門3年	合計	高等5年	専門3年	合計	
開業		1	1	進学			0
治療院就職		2	2	独自事業利用		3	3
病院就職			0	その他		2	2
訪問マッサージ	1	1	2	合計	1	10	11
高齢者施設		1	1				

平成23年度 自立訓練（機能訓練）利用者の進路状況

家庭復帰	就労継続（現職復帰）	進学（理療教育）	自立訓練継続	中途解約	計
10	3	5	4	0	22

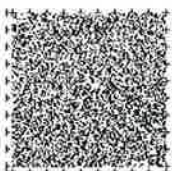
余暇活動支援のご紹介

六甲山牧場 ハイキング

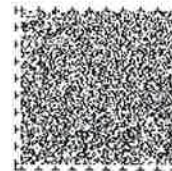
5月19日うっすら汗ばむよく晴れた空の下、自立訓練の利用者3名、就労移行支援（養成施設）の利用者6名の参加のもと、六甲山牧場に所外レクへ出かけました。六甲山牧場は、神戸市街地の六甲山上にひろがる高原牧場で、「人と動物と自然とのふれあいの場」をテーマにした施設です。牧場には、羊やヤギたちが柵の外にも中にもたくさん放牧されており、気軽に触れ合うことが出来て、動物に餌をあげている方もいました。また、お土産売り場にはチーズを使ったお菓子があったり、ソフトクリームが売られていて、デザートに食べている人も多く、3個もソフトクリームを食べたという方も…。



イベントでは、羊の追い込みショーが行われ、一生懸命羊を追いかける牧羊犬をみんなで声援を送りました。時間はすぐに過ぎ、最後に集合写真を撮り、参加者一同帰途につきました。機会があれば皆さんも、六甲山牧場に出かけてみてはいかがでしょうか。



福岡視力障害センターとの スポーツ・文化交流会



平成24年7月5日（木）・6日（金）の2日間、当センターで福岡視力障害センターとのスポーツ文化交流会が開催されました。



今年度は福岡から当センターへ迎え入れるかたちで開催され、はるばる福岡からフェリーで神戸までお越しいただきました。

到着後午後からさっそく競技開始です。第1種目はゴールボールでした。接戦の末神戸センターが勝利し、この勢いに乗り神戸センターの快進撃が始まります。

第2種目はフライングディスクです。神戸センターの利用者は交流会に向け練習を重ねていたこともあり、こちらも神戸センターの勝利となりましたが、福岡センターの利用者も楽しみながら競技に参加していただいた様子でした。

夕食後両センター利用者による交流会が行われました。総勢50名ほどの利用者が集まり互いに交流を深めていました。両センターの利用者は、すぐにうち解けあい活気のある会が進行されていきました。女性陣は浴衣という艶やかな衣装で参加し、夏らしさを演出しつつ、交流会はゲームやカラオケなどで大盛り上がるの会となっていました。

最終日の2日目は第3種目のフロアバレーが行われました。ここでも神戸センターの勢いは止まらず、福岡センターに勝利することができました。

今年度は3種目の競技について神戸センターの勝利という結果になりましたが、福岡センターの方々も旅の疲れもあるなか、一生懸命参加していただき、随所に気持ちの入った光るプレーを見せて下さいました。

この交流会は両センター利用者間の交流において大変意義のあるものであり、今後も継続されていくことを願っています。





第51回

神戸市障害者スポーツ大会

平成24年5月27日（日）神戸総合運動公園ユニバー記念競技場において、神戸市障害者スポーツ大会（陸上競技及びフライングディスク競技）が開催され、陸上競技（50m走及び800m走）に1名、フライングディスク競技に5名の利用者が参加しました。

障害者が行うスポーツには様々な工夫が見られます。陸上競技の50m走は音源に向かっての独走、800m走は輪になったロープを伴走者と一緒を持って競走します。フライングディスク競技は、ディスク（フリスビー）の飛んだ距離を競うディスタンスと、投てきの正確さを競うアキュラシーが行われましたが、触れることや音源を聞くことで投てき方向を確認することができるよう工夫されています。

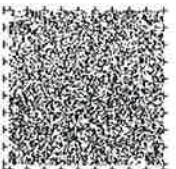
参加した利用者は日頃の練習の成果を存分に発揮して、それぞれ良い成績を収めるとともに、快晴の中で気持ちよい汗を流しました。

◆陸上競技◆

専門2年 中西裕子さん 50m走 2位 800m走 1位

◆フライングディスク競技◆

専門2年	赤堀和生さん	アキュラシー入賞	ディスタンス入賞
専門2年	木下孝顕さん	アキュラシー1位	ディスタンス1位
専門2年	藤原 学さん	アキュラシー2位	ディスタンス入賞
専門2年	村上修治さん	アキュラシー3位	ディスタンス1位
専門2年	山口 洋さん	アキュラシー2位	ディスタンス3位



平成24年2月16日に、神戸市立出合小学校4年生3クラス95名と当センター利用者との交流会を実施しました。

これは昨年10月に、出合小学校4年生の総合学習の一環として、視覚障害者支援について職員が講義と実技を行った結果、小学校から、「もっと視覚障害の方との交流が出来ないか」との相談を受け実現したものです。

小学生と利用者になるべくたくさん交流していただくために、調整を重ね当センターの利用者にも参加希望を募った結果16名の参加を得て、期末試験最終日を利用して実施しました。

当日は3グループに分かれ、小学生が用意した歌やゲームに、参加した利用者も心身共に癒されたようで、「子供たちからエネルギーをもらった」と言う声が聞かれました。

また小学生からの障害についての素朴な疑問に真剣に答えたり、外出時に困った話などを通じて小学生の総合教育にも役立ったようでした。

終始和やかな雰囲気、あっという間に経過したひと時でした。



センター行事予定

(2012年10月から2013年3月まで)



- 10月 1日(月) 後期授業開始
13日(土) オープンキャンパス
中 旬 利用者定期健康診断
中 旬 第1回臨床研修講座
中 旬 余暇活動支援
(兵庫県ローリングバレーボール)
- 11月 3日(金) 余暇活動支援
(兵庫県グランドソフトボール選手権大会)
6日(火) 第2回模擬試験(あま指)
7日(水) 第2回模擬試験(はり・きゅう)
9日(金) 第2回臨床研修講座
中 旬 第2回総合避難訓練
20日(火) 後期中間試験(22日まで)
23日(金) 余暇活動支援(ハイキング)
下 旬 求人説明会
- 12月 3日(月) 障害者週間(9日まで)
9日(日) 余暇活動支援(兵庫県ゴルフ大会)
12日(水) 第3回臨床研修講座
- 22日(土) 利用者冬期休業
(就労移行支援・1月6日まで)
27日(木) 利用者冬期休業(自立訓練・1月6日まで)
- 1月 7日(月) 授業・訓練再開
10日(木) 第3回模擬試験(あま指)
11日(金) 第3回模擬試験(はり・きゅう)
- 2月 5日(火) 後期期末試験
(専門3年、再理療・7日まで)
上 旬 第2回職場開拓委員会
12日(火) 後期期末試験
(専門1年、2年・14日まで)
未 定 就労移行支援募集締切
22日(金) 受験学年授業終了
23日(土) あん摩マッサージ指圧師国家試験
24日(日) はり師・きゅう師国家試験
26日(火) 卒業証書授与式
- 3月 1日(金) 終業式
2日(土) 利用者春期休業(就労移行支援)



人 事 異 動



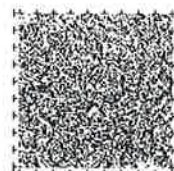
4月1日付

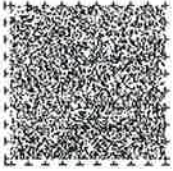
◇ 転 出

- 千葉 一也(所長)
→塩原視力障害センター所長
- 二星 章宏(庶務課会計係長)
→福岡視力障害センター庶務課長補佐
- 浅沼 旬(会計係)
→近畿厚生局健康福祉部福祉指導課介護指導係
- 嘉村 崇史(支援課生活支援専門職)
→福岡視力障害センター支援課機能訓練専門職
- 中西 初男(教務課教官)
→国立障害者リハビリテーションセンター
自立支援局理療教育・就労支援部理療教育課教官

◇ 転 入

- 堤 裕俊(所長)
←国立障害者リハビリテーションセンター
研究所企画調整官
- 伊藤 毅(庶務課会計係長)
←近畿厚生局健康福祉部健康福祉課助成係長
- 加藤 嘉輝(会計係員)
←塩原視力障害センター庶務課会計係
- 三浦 久美(支援課生活支援専門職)
←福岡視力障害センター支援課機能訓練専門職





利用者募集

神戸視力障害センターでは、視覚に障害のある方に、
就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）のサービスを提供しています。

就労移行支援（養成施設）では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の免許取得のための職業訓練を行います。免許取得後は、治療院のマッサージ師、企業のヘルプキーパーなどの就職や治療院の開業、進学などの進路があります。

自立訓練（機能訓練）では、移動、コミュニケーション、日常生活に関する訓練などを行います。自立訓練（機能訓練）の修了後の進路は、家庭復帰、職場復帰、職業訓練等です。自立訓練（機能訓練）の後に就労移行支援（養成施設）を利用される方もいます。

訓練の利用を希望される方は、まず本センターに電話で御相談ください。見学、来所による相談も受け付けています。なお、申込み書類は、募集要項に様式等があります。募集要項は郵送またはホームページからのダウンロードによる印刷が可能です。

利用の相談以外でも、便利な道具についての相談や他の施設などの紹介もいたします。御希望の方にはパンフレットをお送りします。まずは電話でご相談ください。

就労移行支援（養成施設）

対 象	視覚障害の身体障害者手帳が交付されている高卒以上の方
募集人員	20名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）
利用開始	4月
利用期間	3年間
利用方法	通所または宿舎入寮（宿舎は休日でも利用できます。）
費 用	障害者自立支援法に基づく利用料。（お住まいの市区町村で決定）
審 査 等	10月から書類申込み受付開始。書類審査を経て、3月に「来所による審査」。審査に合格後、市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けます。
日 課	平日の8時50分からホームルーム。9時から授業。1時限が45分間、10分間休憩で、ほぼ毎日6時限（～8時限）。昼休みは12時30分から13時30分。（6時限の日の授業は15時10分まで）

自立訓練（機能訓練）

対 象	視覚障害の身体障害者手帳が交付されている15才以上の方
訓練内容	歩行 パソコン 点字 ロービジョン 調理 体育 陶芸 レクリエーションなど
利用期間	個人に依る
利用方法	通所、宿舎入寮、または訪問訓練
申し込み、利用開始時期	随時
費 用	障害者自立支援法に基づく利用料。（お住まいの市区町村で決定）

連絡先

神戸視力障害センター 支援課

【電 話】078-923-4670 【F A X】078-928-4122

【Eメール】sidou@kobe-nhb.go.jp

【ホームページ】<http://nrcd.jp/kobe/>

【交通アクセス】JR明石駅から神姫バス利用（南1番バス停）で約15分、
吉田バス停から徒歩約3分（バス進行方向に直進、
交差点を渡り左折、右側にセンター正門）

